

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団  
平成 30 年度 事業計画・予算

平成 30 年度事業計画

1) 研究奨励金等交付金の交付 合計 5,400 万円

選考委員会で選考され、理事会で決定された交付対象者に研究奨励金等を交付する。

① 募集方法

- ・研究奨励金：募集案内を全国の研究機関に送付、また学術雑誌、関連学会、財団 Web サイトに掲示
- ・海外留学助成金：本財団の理事、評議員及び学識経験者に推薦依頼状を送付

② 募集期間：6 月～8 月

③ 交付件数

・研究奨励金	20 件 (1 件 200 万円)	4,000 万円
・海外留学助成金		1,400 万円
平成 30 年度交付対象者	2 名 (1 名 350 万円)	
平成 29 年度からの継続交付対象者	2 名 (1 名 350 万円)	

2) 2018 年度 (第 29 回) 財団賞の交付 合計 500 万円

財団賞選考委員会で選考され、学会及び財団理事会で承認決定された交付対象者に 18th World Congress of basic and clinical Pharmacology (WCP2018 KYOTO, 2018/07)において賞状を授与すると共に研究奨励金等を交付する。

① 募集方法：学会 Web サイト及び学会機関誌「臨床薬理」に募集案内掲載

② 募集期間：2017 年 12 月～2018 年 2 月

③ 交付件数

・学術奨励賞 (研究奨励金)	1 名	300 万円
・学術論文賞 (副賞)	3 名 (各 50 万円)	150 万円
その他の経費：選考委員会開催費用等		50 万円

3) 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊

作成費合計 560 万円

① No. 39 発刊

編集会議（4月開催）等を経て平成30年6月発刊し、全国約1,650ヶ所に送付する。

掲載論文 平成27年度研究奨励金交付論文	19編
<u>海外留学助成金報告</u>	<u>1編</u>
計	20編

③ No. 40 発刊準備

研究論文等の入手を平成30年8月より開始する。

掲載論文 平成28年度研究奨励金交付論文	20編
平成27年度研究奨励金交付論文	2編
<u>海外留学助成金報告</u>	<u>2編</u>
計	24編

4) 第11回 研究報告会の開催

開催費用合計 580 万円

日時：平成30年11月20日(火)

場所：経団連会館

出席者：理事、監事、評議員、選考委員、全国の臨床薬理研究に関する有識者、  
第11回 研究大賞受賞者、第一三共(株)研究開発部門 等

スケジュール (案)：

14:00～15:00	理事会
15:30～19:00	研究報告会
第1部	研究大賞受賞者表彰式
第2部	研究報告会
第3部	情報交換会

5) 第3回 臨床薬理学集中講座の開催

合計 420 万円

開講の趣旨：

医療の中で薬物療法とそれを支える臨床薬理学の重要性が益々高まっており、臨床薬理学の将来を担う人材の育成が求められています。本講座は、若手の医師及び薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信のできる医療従事者・研究者の育成を目指して開講します。

日時：平成30年8月3日(金)10:00～8月5日(日)14:30

場所：NEXUS HAYAMA (第一三共株式会社 研修施設)

内容：臨床薬理学とは、臨床試験デザイン、研究倫理、生物統計学、  
臨床試験企画立案演習、臨床薬物動態学と薬物投与設計、医薬品有害作用、  
薬物相互作用、薬理遺伝学、バイオマーカー、医薬品開発・レギュラトリーサイエンス

募集人数：35名程度

その他：受講修了者のネットワーク形成を支援するため、平成29年度に続き、平成30年11月日本臨床薬理学会関東・甲信越支部会(横浜)の会期中に、集中講座受講者フォローアップ・セミナーを開催することを計画している。同フォローアップ対策費用も平成30年度収支予算として計上している。

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団平成30年度収支予算(損益計算方式)

平成30年4月1日～平成31年3月31日

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計予算額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,027,985	7,998,859	10,026,844
基本財産受取利息	2,027,985	7,998,859	10,026,844
②受取寄付金	91,000,000	9,000,000	100,000,000
受取寄付金	91,000,000	9,000,000	100,000,000
③雑収益	6,000	0	6,000
受取利息	6,000	0	6,000
経常収益計	93,033,985	16,998,859	110,032,844
(2) 経常費用			
①事業費	( 98,782,000 )	( 0 )	( 98,782,000 )
給料手当	7,680,000		7,680,000
業務委託費	4,152,000		4,152,000
研究奨励金	40,000,000		40,000,000
海外留学助成金	14,000,000		14,000,000
財団賞	5,000,000		5,000,000
会議費	1,100,000		1,100,000
旅費交通費	1,500,000		1,500,000
広告費	430,000		430,000
諸謝金	2,300,000		2,300,000
賃借料	6,500,000		6,500,000
印刷製本費	5,600,000		5,600,000
通信運搬費	520,000		520,000
研究報告会費	5,800,000		5,800,000
集中講座費	4,200,000		4,200,000
②管理費	( 0 )	( 15,080,000 )	( 15,080,000 )
役員報酬		2,300,000	2,300,000
給料手当		1,920,000	1,920,000
業務委託費		1,100,000	1,100,000
福利厚生費		1,500,000	1,500,000
会議費		1,400,000	1,400,000
旅費交通費		2,300,000	2,300,000
諸謝金		250,000	250,000
調査費		60,000	60,000
図書費		80,000	80,000
賃借料		1,700,000	1,700,000
消耗什器備品費		100,000	100,000
消耗品費		360,000	360,000
印刷製本費		200,000	200,000
通信運搬費		330,000	330,000
減価償却費		800,000	800,000
支払会費		430,000	430,000
租税公課		20,000	20,000
雑費		230,000	230,000
経常費用計	98,782,000	15,080,000	113,862,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,748,015	1,918,859	△ 3,829,156
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,748,015	1,918,859	△ 3,829,156
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	5,748,015	△ 5,748,015	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 3,829,156	△ 3,829,156
一般正味財産期首残高	1,788,034	116,894,092	118,682,126
一般正味財産期末残高	1,788,034	113,064,936	114,852,970
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	1,945,185	7,667,655	9,612,840
一般正味財産への振替額	△ 1,945,185	△ 7,667,655	△ 9,612,840
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			965,799,000
指定正味財産期末残高			965,799,000
III 正味財産期末残高			1,080,651,970